



妙高市生涯学習推進プラン

人生100年時代を心豊かに生きる生涯学習のまち 妙高



令和 2 年 3 月

妙高市教育委員会 生涯学習課

妙高市生涯学習推進プラン 目次

はじめに

- 1 プラン策定の趣旨 1
- 2 生涯学習推進プランの位置付けと計画期間 1
- 3 国・県における生涯学習への取り組み方針 2

I 目指す生涯学習社会の基本的な考え方

- 1 基本目標 3
- 2 生涯学習推進における現状と課題
 1. 生涯にわたっていつでも学べる環境づくり 3
 2. 学びでつながる地域づくり・人づくり 4
 3. 学習成果を活かした活力ある地域づくり 5
 4. 多様な学習活動を支える基盤づくり 5
 5. 市民の生涯学習に関する意識 6

II 生涯学習推進のための施策の方向性と展開

- 1 生涯にわたっていつでも学べる環境づくり 10
 - (1) 学びの意欲を高める学習情報の提供と学習相談機能の充実 10
 - (2) 社会環境の変化や持続可能な未来を見据えた学習機会の充実 11
 - (3) 郷土への愛着や誇りにつながる学習機会の提供 12
- 2 学びでつながる地域づくり・人づくり
 - (1) 共に学び合い、高め、支え合う人づくり 13
 - (2) 学びを通じた地域の絆づくり 13
- 3 学習成果を活かした活力ある地域づくり
 - (1) 学びの循環を促進する仕組みづくり 14
 - (2) 学びと地域資源を活かした交流の促進 15
- 4 多様な学習活動を支える基盤づくり
 - (1) 生涯学習関連施設の整備と機能の充実 16
 - (2) 社会教育関係機関及び関係団体との連携強化 18

III プランを実現するための関連施策

- 1 生涯にわたっていつでも学べる環境づくり 20
- 2 学びでつながる地域づくり・人づくり 21
- 3 学習成果を活かした活力ある地域づくり 21
- 4 多様な学習活動を支える基盤づくり 22

資料

- 1 生涯学習課所管施設一覧表

はじめに

1 プラン策定の趣旨

本市では、第2次妙高市総合計画や第Ⅲ期総合教育基本計画を受け、平成27年に、生涯学習によるまちづくりの指針として「妙高市生涯学習推進プラン（以下「推進プラン）」を策定し、目指すべき姿として「すべての市民が生涯をとおして学び・活かしいいきと暮らすまち妙高」を基本目標に掲げ、各種の施策や事業を展開してきました。

人生100年時代を迎え、少子高齢化や人口減少が進む中で、市民が生涯を通じて学びを深め、その成果を地域社会で活かす学びの循環の推進により、すべての市民が心豊かにいきいきと暮らし、持続可能で活力ある地域社会の維持・発展のため、生涯学習の果たす役割は、ますます重要になってきています。

本推進プランは、これまで5年間の取り組みによる成果や残された課題を整理するとともに、急速に変化する社会環境を踏まえ、今後の施策や事業の方向性を明らかにするために策定するものです。

2 生涯学習推進プランの位置付けと計画期間

◆プランの位置付け

本推進プランは、教育委員会所管の生涯学習施策のほか、所管施設の指定管理者等や市役所各課が提供する講座や教室等についても、広く「学び」として捉えたうえで、市民への効果的な学びの機会や学習情報の提供に加え、学びを通じた郷土への愛着や地域での連帯感の醸成、学びの成果を地域で活かすための仕組みづくり、さらには市民の主体的な学習活動を支える環境づくりなどについて、「学ぶ」「つなぐ」「活かす」「支える」の4つの視点で整理し、豊かな生涯学習社会を実現していくための指針として位置付けます。

◆プランの期間

第3次妙高市総合計画及び第Ⅳ期妙高市総合教育基本計画との整合性を図るため、本推進プランは令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までの5年間を計画期間とします。

3 国・県における生涯学習への取り組み方針

(1) 国における取り組み方針

第3期教育振興基本計画では、第2期計画の「自立」「協働」「創造」の方向性を継承し、「個人と社会の目指すべき姿」として、

(個人) 自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら 新たな価値を創造する人材の育成

(社会) 一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現、社会(地域・国・世界)の持続的な成長・発展

を掲げています。さらに、今後の教育政策の重要事項として、「超スマート社会(Society 5.0)」の実現に向けた技術革新が進展するなか「人生 100 年時代」を豊かに生きていくためには、「人づくり革命」、「生産性革命」の一環として、若年期の教育、生涯にわたる学習や能力向上が必要であること。教育を通じて生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」を最大化することを今後の教育政策の中心に据えて取り組むとしています。

(2) 新潟県における取り組み方針

新潟県では、第3次新潟県生涯学習推進プランにおいて、県民の学びを支援するため、社会教育施設をはじめ様々な学習機会を充実させるとともに、人づくり、地域づくりに取り組み、学んだ成果を地域の諸課題の解決に有効に活用するなど、生涯にわたり学び活躍できる循環型の生涯学習社会の実現を目指すこととしています。

また、生涯学習の理念として、「だれでも・いつでも・どこでも学べる社会」と、「学習成果が適切に活かされ評価される社会」を挙げており、個人の学習活動のほか学校教育や社会教育などで意図的・組織的に行われる学習、さらにはスポーツ、文化、レクリエーション、ボランティア活動、社会貢献活動など、あらゆる学習で得た技能の成果が社会の様々な場面で活用されるとともに、それが適切に評価されることが重要であるとしています。

I 目指す生涯学習社会の基本的な考え方

1 基本目標

～ 人生100年時代を心豊かに生きる生涯学習のまち 妙高 ～

すべての市民が人生100年時代を心豊かに健康でいきいきと過ごすことができるよう、市民に多様な学びの機会を提供するとともに、学びに関する情報提供や相談などの支援を行うことで、市民が生涯をとおして自ら学び、一人ひとりが個性や能力を伸ばし、生きがいや仲間づくりを進め充実した人生を送ることができる社会を目指します。

また、この学びで得た知識や技能が地域の中で活かされ、新たな学びの担い手や地域活動の実践者として活躍できる仕組みづくりを進め、学びの好循環による持続可能なまちづくりの実現に向けた取り組み（SDGs※）を進めます。

※SDGs・・・国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標のこと。17つのゴールが設定されており、本プランではそのうち5つの達成を目指します。



2 生涯学習推進における現状と課題

1. 生涯にわたっていつでも学べる環境づくり

(1) 学びの意欲を高める学習情報の提供と学習相談機能の充実

「妙高はねうまカレッジ まなびの杜」を平成28年に開講し、郷土の豊かな自然環境や歴史文化をはじめ、地域づくり等の現代的な課題を学ぶ機会を提供するとともに、市役所各課や市民活動団体等が開催する講座や教室を集約し、広報紙や市ホームページ等を通じて、定期的な情報提供を行っています。

市民の主体的な学びを促進するためには、市民ニーズを踏まえ、社会情勢に対応した学習機会を提供するとともに、市民が求める学習情報を集約し、必要な時期に必要な情報を提供する効果的な情報発信を行いつつ、学びを提供する団体や関係機関との連携を図り、学びに関する相談機能の強化を図る必要があります。

(2) 社会環境の変化や持続可能な未来を捉えた学習機会の充実

まちの魅力や地域づくりの手法、健康や防災等の現代的な課題への理解を深めるため、まなびの杜に「ひと・まちコース」を設け、妙高市が直面している課題についての学習機会を提供しているほか、東京藝術大学と連携した芸術展等の開催により、発表の場やスキルアップ、及び良質な鑑賞機会の提供に取り組んでいます。また、総合型地域スポーツクラブと連携し、幅広い年代に多様なスポーツ活動の機会を提供するとともに、夏季巡回ラジオ体操会の誘致などにより、市民の日常的な運動習慣の定着に努めています。

今後は、Society5.0時代をはじめとした、社会経済情勢の急激な変化を見据え、多様化する社会的・現代的な課題に的確に対応した講座・教室の開催や、未来を担う子どもたちの生きる力を育む学びの充実、豊かな心を育む芸術・文化活動の活発化に加え、それぞれの世代に応じた生涯スポーツの振興を図ることで、いつまでも健康でいきいきと暮らせる環境づくりを推進する必要があります。

(3) 郷土への愛着や誇りにつながる学習機会の提供

郷土の歴史や文化、地域の自然など、学びを通してふるさと妙高のすばらしさを再発見することで、市民一人ひとりが郷土に愛着と誇りを持てるように、まなびの杜に「歴史文化コース」「自然環境コース」を設置し、受講者がほぼ定員となるなど、継続的な学びが続いています。

妙高山麓に広がる豊かな自然や、地域の歴史と風土の中で生まれ、培われた多様な文化を学びながら、地域の魅力を見つめ直し、磨き上げ、後世に受け継いでいく気運を高めていくことが求められています。

2. 学びでつながる地域づくり・人づくり

(1) 共に学び合い、高め、支え合う人づくり

過疎化や少子高齢化等の影響により、地域の伝統行事や農山村の風景、雪国の暮らしなど、古くから伝わる歴史文化が埋もれつつある中で、まなびの杜をはじめとした多方面での学びを通じ、地域の魅力を再確認し、地元主体で地域の宝を守り、継承し、活用につなげる動きが活発化しつつあります。

郷土に愛着を持ち、誇りをもって地域づくりに取り組む人材育成を進めるとともに、学びを通じて郷土の魅力を再確認し、地域課題を共有しながら、互いに高め合い、支え合いながら地域の活性化につなげていくことが重要となっています。

(2) 学びを通じた地域の絆づくり

人口減少や少子高齢化、核家族化等の進行により地域でのつながりが薄れていくことが懸念されていますが、互いをいたわり、思いやりを持って助け合う「妙高市民の心」の活動を継続的に展開してきたことにより、地域での主体的な「あいさつ運動」が定着するなど、人と人、人と地域とのつながりを深める絆づくりが進んでいます。

「妙高市民の心」を礎とし、思いやりを持って互いに安心して暮らせる地域づくりを進める

とともに、学びを通じた地域間の交流や、幅広い世代間の交流を促進し、家庭や学校、地域や事業所が一体となった取り組みにより、地域力の向上を図ることが必要となっています。

3. 学習成果を活かした活力ある地域づくり

(1) 学びの循環を促進する仕組みづくり

学校や地域・町内会等の活動に、様々な知識や技能を持つ地域の指導者を紹介・派遣する「地域活動人材制度」の活用を通じ、市民が生涯を通じて学び、活躍できる場が拡大するとともに、総合型地域スポーツクラブや各種スポーツ団体での選手の育成・強化により、全国大会での好成績や世界を目指すトップアスリートの輩出につながっています。

社会経済情勢の変化等を踏まえ、生涯学習を通して培った知識や技術、経験を地域で共有し、多様化する地域課題を踏まえ、さらなる学びへと発展させ、地域の活力の向上に結び付けていくことが重要となっています。

(2) 学びと地域資源を活かした交流の促進

妙高の歴史的・文化的資源の保存と活用の指針となる「歴史文化基本構想」を取りまとめ、同構想に基づき、斐太・関山・関川の3地区では、地域資源の磨き上げと公開・活用に向けた計画づくりが地元主体で進んでいます。また、妙高高原体育館のオープンや妙高高原スポーツ公園グラウンドの改修など、充実したトレーニング環境の整備等により、合宿の郷としての認知度が向上するとともに、「にいがた妙高はねうま国体」や「全国高等学校スキー大会」の開催等を通じ、スキーの聖地としての全国的なブランド力が高まっています。

妙高の多様な地域資源を活かした交流を促進するためには、地域自らがその価値や魅力を理解し、主体的に関わっていくことが重要であるほか、民間事業者との連携を強化し、市内外に効果的に情報発信を行うとともに、受入体制の充実を図っていくことが必要になります。

4. 多様な学習活動を支える基盤づくり

(1) 生涯学習関連施設の整備と機能の充実

生涯学習の拠点となる施設として、青少年学習施設や総合体育館、妙高高原体育館等の施設整備に加え、旧関山宝蔵院庭園の修復整備などに取り組んでいるほか、利用しやすい施設環境を維持し、機能の充実を図るための改修等を計画的に行っています。

今後は、本や情報の集積基地としての「知の拠点」、市民の主体的な学びを支える「生涯学習拠点」、市民が集い、地域に活力をもたらす「交流拠点」としての新たな図書館の整備をはじめ、歴史文化資源の魅力を伝える交流施設や老朽化が進むスポーツ施設等の改修を進める必要があるほか、子どもたちに発見と感動を与え続けられるよう、青少年学習施設の次期リニューアルについても検討していく必要があります。

(2) 社会教育関係機関及び関係団体との連携強化

学びを提供する市民団体や関係機関等においても、各種文化団体やスポーツ団体ごとに相互交流を図り、市民の多様なニーズやそれぞれの学びに応える活動を展開しています。

生涯学習活動をより活発化するためには、運営ノウハウや人材情報などの共有を図るほか、相互に連携する場づくりが必要であり、各団体間の連携を強化し、協働して事業や人材育成に取り組むことが求められています。

5. 市民の生涯学習に関する意識

生涯学習に関する現状や市民ニーズを把握し、循環型の生涯学習社会を目指した施策を推進するため、生涯学習に関する興味・関心をはじめ、1年間に取り組んだ生涯学習の内容、及び学習成果の活かし方などについて、市民を対象にアンケート調査を実施しました。

調査結果によると、1年間に取り組んだ生涯学習活動としては、「健康・スポーツ活動」が35%と最も多く、次いで「趣味的なもの」が28%、その次に職業や家庭生活に役立つ知識や技能があげられています。

また、これらの活動で得た知識や技能を「地域社会で役立てたい」「どちらかと言えば役立てたい」と考える割合が約7割を占めており、役立てたい活動としては、地域での奉仕活動の支援や学習活動に関する指導・助言、子育てや育児支援、子ども会活動や自然体験活動などとなっています。学びの成果を活かして、地域づくりや子育て支援、学校や子ども会活動の支援に携わりたいと考えるかたが多いことがうかがえます。

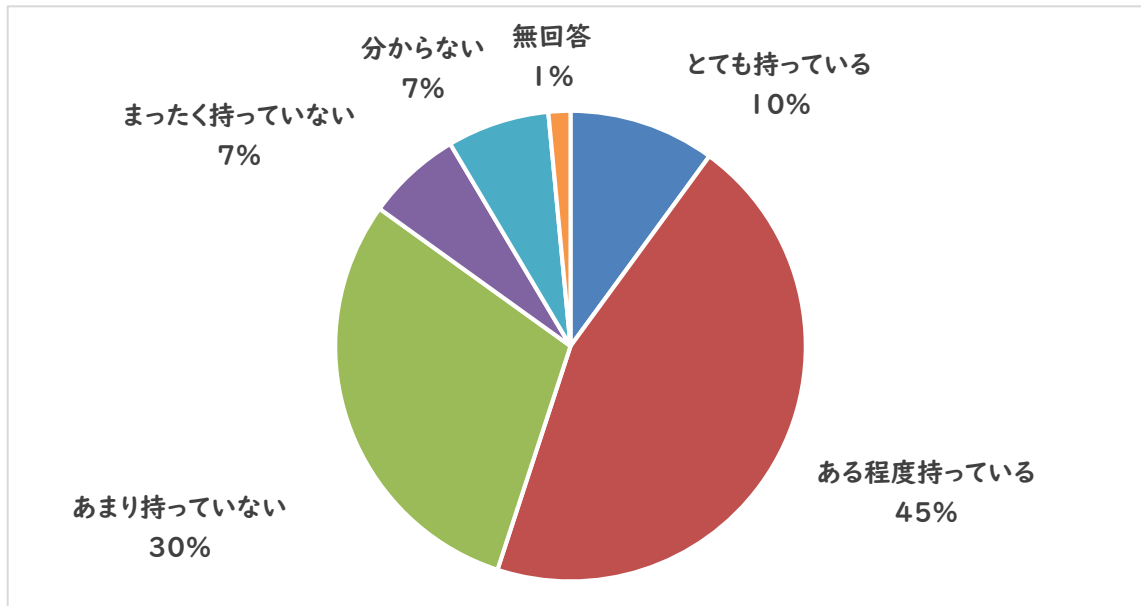
一方、生涯学習活動を「何もしていない」割合が37%となっていることから、すべての市民が、学びを通じた仲間づくりや健康づくり、地域づくり活動などを進めながら、人生100年時代を心豊かに生きていくために、生涯学習活動の意義への気づきや実践を促していく必要があります。

<生涯学習に関する市民アンケート調査の概要>

- ・実施期間 平成31(2019)年2月1日(金)～2月28日(木)
- ・対象者 16歳以上の市民1,000人(無作為抽出)
- ・回答数 398人(39.8%)

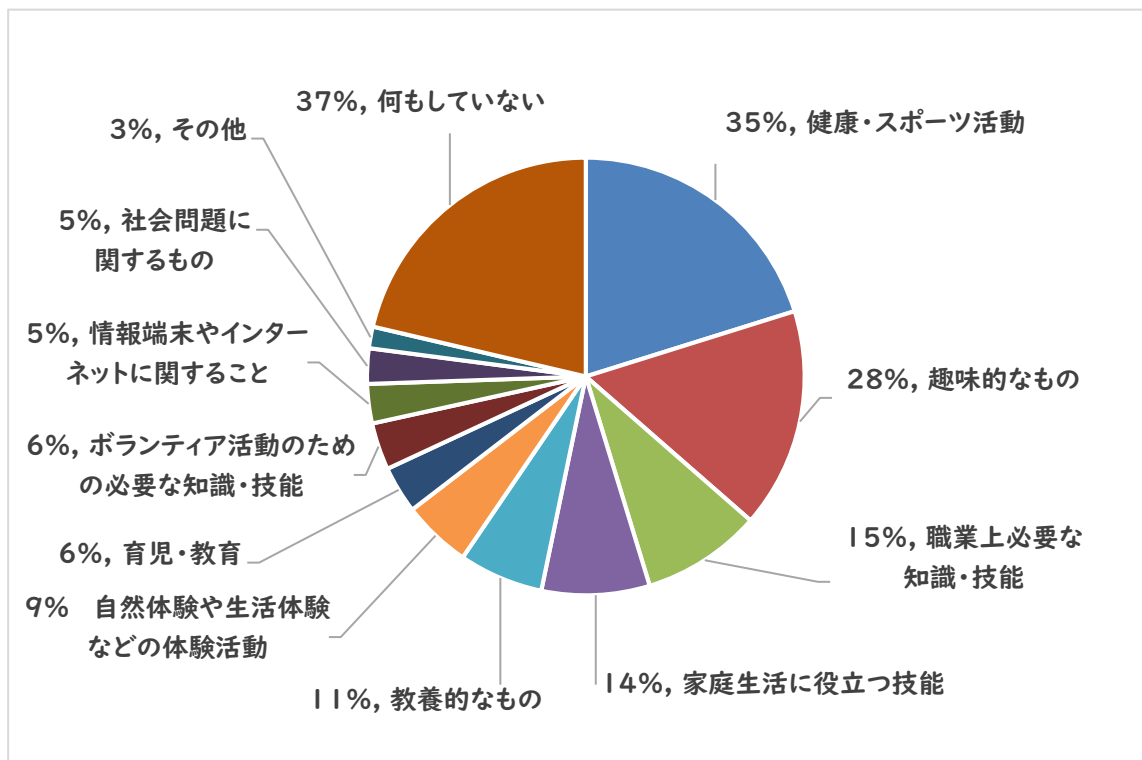
生涯学習に関する市民アンケート調査結果

①生涯学習に関する興味・関心



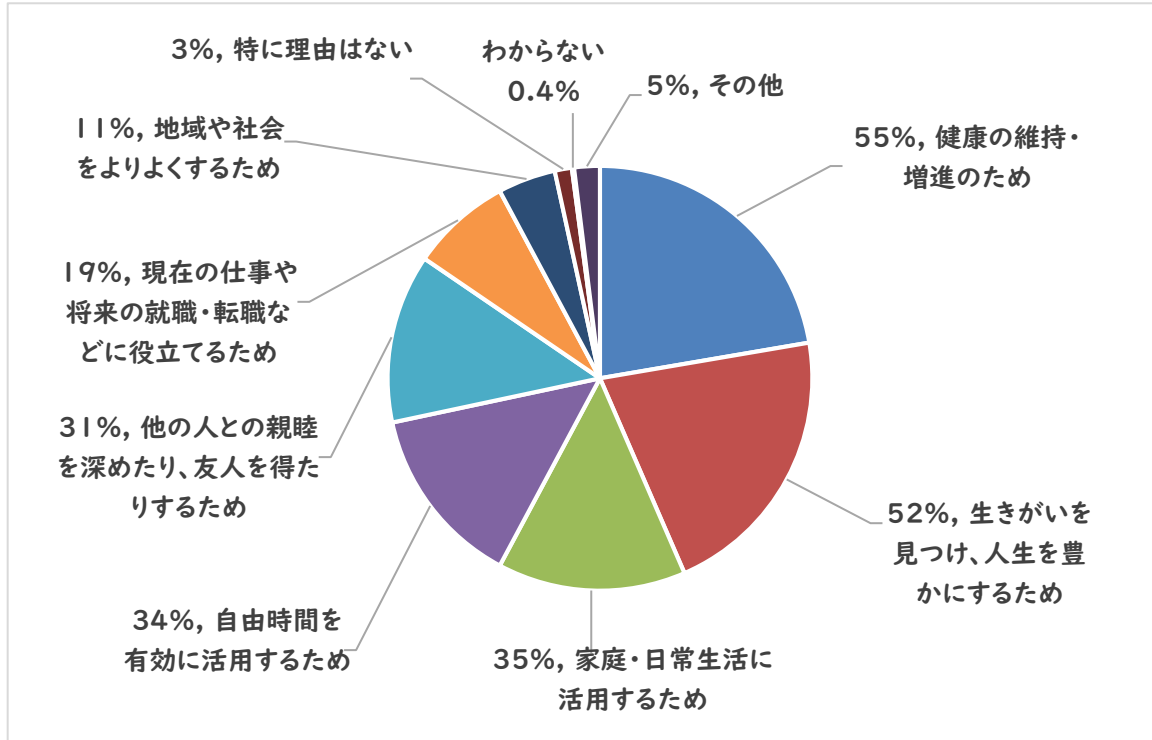
◎「とても持っている」「ある程度持っている」との回答が6割近くを占めており、市民の生涯学習に対する興味・関心は比較的高いと考えられます。

②1年間取り組んだ生涯学習の内容（複数回答）



◎過去1年間に取り組んだものとしては、「健康・スポーツ」や「趣味的なもの」が一番多く、職業生活や家庭生活など、日常の暮らしに関わる学びを受講する人が次に多くなっています。また、何もししていない人も多いことから、学びの意欲を高めていく必要があります。

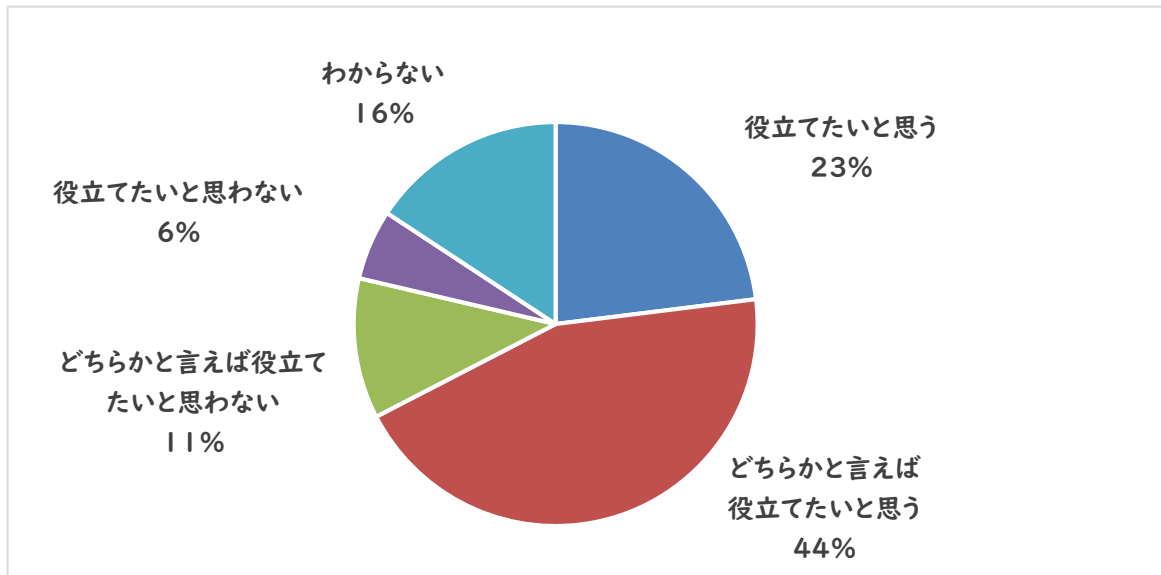
③生涯学習の意義・目的（複数回答）



※いずれかの生涯学習をしていると回答した251人に対するもの

◎「健康の維持・増進」や「生きがいを見つけ、人生を豊かにするため」と考えている人の割合が多くなっています。

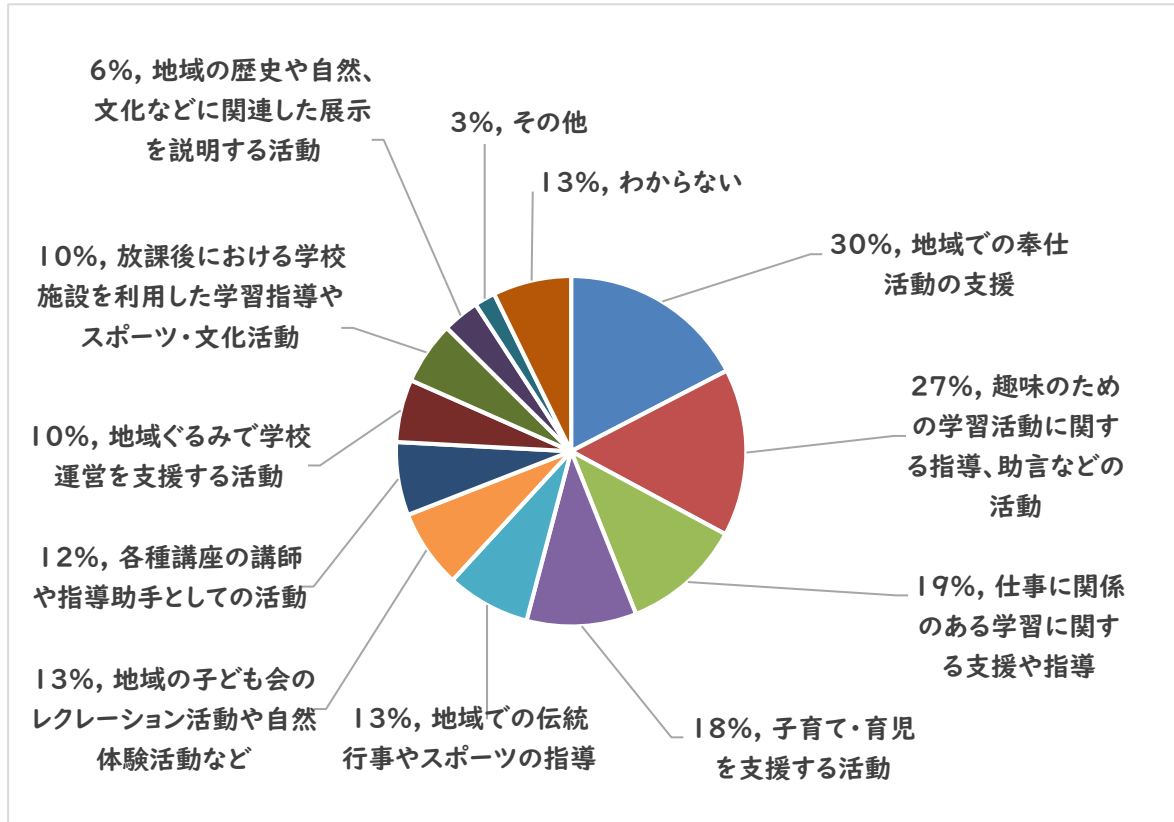
④生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を、地域社会で役立てたいと思いますか。



※生涯学習に関する講座に参加したいと回答した178人に対するもの

◎「役立てたいと思う」「どちらかと言えば役立てたいと思う」との回答が2/3以上を占めており、学びで得た自らの知識・技能・経験を地域社会で役立てたいと思っている市民が多いことがわかります。

⑤地域社会の中で役立てたいと思う活動（複数回答）



※生涯学習を通じて身につけた知識、技能や経験を地域社会で役立てたい・どちらかといえば役立てたいと回答した120人に対するもの

◎地域社会の中で役立てたいと思う活動としては、「地域での奉仕活動の支援」や「趣味のための学習活動に関する指導、助言などの活動」が一番多く、次いで仕事や子育てなどの日常生活に関わるものの割合が多くなっています。

Ⅱ 生涯学習推進のための施策の方向性と展開

1 生涯にわたっていつでも学べる環境づくり

関連する SDGs の目標



(1) 学びの意欲を高める学習情報の提供と学習相談機能の充実

① 学びに関する市民ニーズの把握

○ アンケート調査などによる市民ニーズの把握と事業への反映

- ・ 定期的・継続的なアンケート調査等により、市民の生涯学習活動に対する興味や関心、講座や教室への要望や期待など、市民の学びに関するニーズを把握するとともに、それらを学習プログラムの企画・運営に活かし、学びの機会と内容の充実を図ります。

○ 講座や教室参加者の満足度を高める事後評価の実施

- ・ 「まなびの杜」をはじめ、各種講座等の受講者の満足度を高め、より充実した学びの場を提供できるよう、講座終了後の受講者へのアンケート調査はもちろん、学びの提供者である関係団体や講師との情報交換などを通して、事業の成果を評価・検証し、質の高い学びの提供に努めます。

② 必要な人に必要な情報が届く効果的な情報発信

○ 学びに関する情報の集約と一元的な市民への提供

- ・ 各種講座や教室などの学びの情報が得やすいように、市や指定管理者、関係機関等が開催する学習情報を集約し、多様な手段を通じて定期的に情報発信することで、学びや体験活動のきっかけづくりを行うとともに、学習機会の選択の幅を広げ、自主的な学習活動を支援します。

○ ICTを活用した効果的な情報発信

- ・ ICT(※1)を活用した情報発信やサービス提供を拡充し、集約した生涯学習に関する情報をウェブサイトや SNS 等を通じてタイムリーに発信することで、ソーシャルメディアの利用の多い若年層への情報提供の機会を充実します。

③ 学びに関する相談機能の強化

○ 学びに関する相談やコーディネート機能の充実

- ・ 多様化する学習ニーズに対応する相談機能や、自主的・継続的な学習活動への支援を充実するため、社会教育主事の配置などにより、学びに関する情報交換や連携・調整を行うコーディネート機能の強化を図ります。

○ 学びの提供機関・団体等との連携強化

- ・ 学びを提供する生涯学習施設の指定管理者や市民活動団体等との連携を強化し、講座の開催内容や運営方法等の情報を共有しながら、学習者の学びのニーズや内容に応じた相談機能の強化を進めます。

※1) Information and Communication Technology (情報通信技術) の略で、パソコンやスマートフォン、タブレット端末などを活用した情報処理や通信技術の総称

(2) 社会環境の変化や持続可能な未来を見据えた学習機会の充実

①社会的・現代的な課題を踏まえた学習機会の提供

○Society 5. 0時代を見据えた学びの提供

- ・ Society 5. 0 (※2) 時代の到来に向け、まなびの杜の「ひと・まちコース」をはじめ、多様な講座の充実を図りながら、AI等の先端的な技術を活用し、地域課題の解決に向けて主体的に取り組む人材育成を進めます。

○国際化を生きる人材育成

- ・ 姉妹都市であるスロヴェニ・グラデツ市と妙高市の高校生の交流を推進し、異文化理解やコミュニケーション能力の向上を図りながら、両市の交流の裾野を広げ、国際化に対応した人材を育成するとともに、日本語教室「あいうえおスクール」の運営ボランティアの確保に努め、在住外国人が受講しやすい学習環境の充実に取り組みます。

○多様性を認め合う人権意識の醸成

- ・ すべての人が互いの人権を認め合い、相互理解と協働の意識を醸成するため、多種・多様な学習機会の提供を通じて、人権意識の向上を推進し、多様性が尊重され、すべての人が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

②子どもたちの生きる力を育む学びの充実

○地域活動人材制度による学習支援の充実

- ・ 学校や地域、町内会等の活動に対し、様々な知識や経験、技術を持つ指導者を紹介・派遣し、市民の主体的な学びの活動を支援するとともに、生涯学習を通じて培った学びの成果を活かす場づくりを進めます。

○子どもや親子を対象とした講座の充実

- ・ 地域の自然や歴史、伝統文化、地場産業などの学びを通して、郷土への誇りと愛着を育みながら、親子で共に体験し、絆を深めるとともに、仲間づくりや情報交換の場づくりに取り組みます。

○子どもたちの体験活動に関わる地域人材の発掘・養成

- ・ 子どもたちの豊かな感性や人間性を育むため、生活体験や自然体験などの体験活動の機会を充実するとともに、妙高の特色のある自然や文化を活かした活動や、都市・農村交流や異年齢・世代間交流等に取り組む人材の発掘や養成に取り組みます。

③心の豊かさを感じる芸術・文化活動の促進

○優れた芸術文化に触れる機会の創出・提供

- ・ 東京藝術大学等とのつながりを活かしながら、美術や音楽分野における指導会を開催し、制作・演奏技術の向上を図るとともに、一流の作家や演奏家による作品展やコンサートの開催により、優れた芸術に接する機会を提供し、市民の芸術への関心を高め、実践活動を促します。

※2) AI や IoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技术をあらゆる産業や社会に取り入れることにより実現する新たな未来社会の姿で、狩猟社会 (Society 1.0)、農耕社会 (Society 2.0)、工業社会 (Society 3.0)、情報社会 (Society 4.0) に続く、人類社会発展の歴史における5番目の新しい社会の姿。

○芸術文化活動に親しむ市民の成果発表の場づくり

- ・公益財団法人妙高文化振興事業団や市内の芸術文化団体と連携しながら、市民参加型の魅力ある芸術文化事業を開催するとともに、団体が主体的に行う成果発表活動を促進し、市民が気軽に芸術文化に親しみ参加できる機会を増やします。また、美術展覧会に多くの方が出品しやすい環境づくりを進め、日ごろの創作活動の成果発表の場と芸術活動の裾野の拡大を図ります。

○高等教育機関等と連携した芸術文化活動の活性化

- ・岡倉天心を縁とする東京藝術大学との深いつながりを活かし、滞在型の芸術事業や芸術展、創作オペラをはじめとした妙高の特色ある芸術文化事業を展開するとともに、広く市内外に発信します。

④ライフステージに応じた生涯スポーツの振興

○総合型地域スポーツクラブとの連携による市民のスポーツ実施率の向上

- ・地域のスポーツ活動の中心となっている総合型地域スポーツクラブと連携し、各種の水泳・フィットネス教室をはじめ、継続的にスポーツや運動を楽しむための目標となるスポーツ大会等を開催し、スポーツ実施率の向上を目指します。

○ラジオ体操やニュースポーツの普及による運動習慣の定着

- ・市民の日常的な運動習慣の定着や習慣化に向けて、スポーツ推進委員やラジオ体操指導員などと連携し、気軽に取り組むことができるラジオ体操やポッチャ等のニュースポーツの普及・定着を進めます。

○子どもたちの夢を叶える多種目型ジュニアスポーツクラブの運営と支援

- ・楽しみ志向から競技力向上まで、個々の目標やレベルに応じて、様々なスポーツに親しむことができるジュニアスポーツクラブの活動を支援し、子どもたちの可能性を広げ、夢を叶えるきっかけとなる場を提供します。

(3) 郷土への愛着や誇りにつながる学習機会の提供

①地域の宝を知る学びの充実

○国立公園妙高をフィールドとした自然学習の実践と環境保護意識の醸成

- ・「まなびの杜」などを通じて、「妙高戸隠連山国立公園」に広がる豊かな自然をはじめ、動植物や地形、地域の成り立ちなどについて、学びを深めることにより、地域の魅力の理解を深めつつ、自然環境保護の意識の醸成を図ります。

○地域に残る歴史文化資源の掘り起こしと後世への継承

- ・妙高の歴史や文化財、妙高にゆかりのある文化人などについて、「まなびの杜」などを通じて学習するとともに、地域の歴史文化資源の磨き上げを行いながら、その価値や魅力を地域で共有し、地域の宝として後世に継承する取り組みを推進します。

②地域の魅力を再発見する学びの提供

○妙高ゆかりの人々が愛した妙高の魅力の再発見

- ・岡倉天心や与謝野晶子をはじめ、妙高をこよなく愛した人々を魅了した自然景観や地域に息づく文化遺産、脈々と受け継がれた風習や伝統行事など、地域の宝を見つめ直し、

学び直すことにより、郷土への誇りを醸成します。

○郷土の誇りとなる地場産業や産業遺産の魅力の顕在化

- ・古くから地域を牽引してきた老舗企業や時代の潮流を捉えた新たな企業など、地場産業の魅力の顕在化させるとともに、地域に残る産業遺産の歴史や価値を学ぶ機会を提供することにより、先人の知恵と高い技術力を顕彰しつつ、郷土の産業への関心や、地場産品への愛着を深めます。

2 学びでつながる地域づくり・人づくり

関連する SDGs の目標



(1) 共に学び合い、高め、支え合う人づくり

①共に学び合い、学びでつながる人づくり

○学習活動を通じた仲間づくりと地域連帯感の醸成

- ・講座や教室などでの学びを通じ、情報交換や世代間の交流を深めながら、学びの仲間づくりを進め、互いに支え合い、課題解決に向けて協働で取り組む連帯感の醸成に努めます。

○互いの学びを支え合うネットワークづくり

- ・学びを提供する団体間の交流や連携の場の充実を図り、相互のつながりを深めるとともに、共に学び合い、高め、支え合うネットワークづくりを進め、学びを通じた地域力の向上を目指します。

②学びの成果を積極的に活かす人づくり

○自ら地域課題の解決に取り組む人材の発掘

- ・講座や教室などの受講を通じ、地域課題の解決に向けて主体的に行動する人材を育成するとともに、学校やPTA、町内会等と連携し、地域の担い手となる多様な人材の発掘に取り組みます。

○地域の魅力を発信できるボランティアの育成

- ・継続的に学びを深めることができる講座や教室を開催し、学校での指導や自然観察・歴史散策のガイドとして活躍できるボランティアの育成を進め、学びの成果を活かした地域資源の魅力発信を進めます。

(2) 学びを通じた地域の絆づくり

①「妙高市民の心」を基盤とした地域の絆づくり

○ワークライフバランスの推進による家族のきずなづくり

- ・地域や事業所と一体となった「妙高市民の心」の普及・推進により、一人ひとりが充実

感を感じながら働き、家庭や地域などでもいきいきと過ごすことができるように、仕事と家庭の調和を図るとともに、家族で食卓を囲むなど、家族での会話やコミュニケーションを大切に、家族の絆を深める取り組みを推進します。

○あいさつや声かけで広がるふれあいの輪づくり

- ・地域住民や事業所等が広く参加する「ALL 妙高あいさつ運動」をはじめ、日常的な声かけやあいさつを通じ、コミュニケーションの活性化を図り、ふれあいのある豊かな地域づくりを進めます。

○思いやりや助け合いの心が支える相互扶助活動の活性化

- ・家族や地域の絆、思いやりや助け合いの心を育む「妙高市民の心」の推進運動を通じて、家庭や学校、地域や事業所との協働意識を醸成し、住民相互の助け合いや支え合いでつながる地域づくりを進めます。

②協働でつくる持続可能な地域づくり

○学びによる地域間の交流や世代間の交流の促進

- ・行政や指定管理者、市民活動団体など、多様な主体と連携・協力し、学びの環境を整備するとともに、それぞれの結びつきを深めながら、市民の主体的な学習活動を支援し、地域や世代を超えた交流を促進します。

○家庭・学校・地域社会の連携による地域力の向上

- ・地域の総合的な課題に対応できるように、学びを通じた家庭や学校、地域や事業所等の連携・ネットワークを強化することにより、地域力の向上を図り、協働で持続可能な地域づくりを進めるための基盤を整備します。

3 学習成果を活かした活力ある地域づくり

関連する SDGs の目標



(1) 学びの循環を促進する仕組みづくり

①学習成果を実践活動につなぐ仕組みづくり

○活動の場に関する情報提供と人と活動をつなぐコーディネート機能の強化

- ・市民が持つ知識や技術、学びの成果を地域社会で活かすため、専門性のある生涯学習指導員を配置し、実践活動の機会に関する情報提供や相談対応により、人と活動をつなぐコーディネート機能を発揮します。

○講座運営等への学習修了者の参画の促進

- ・学びの循環の促進により、学びの質や魅力をさらに高めるため、「まなびの杜」をはじめ、様々な生涯学習に取り組む市民の学習成果を、講座や教室の運営など、次の学びに活かす仕組みづくりを進めます。

②学習の成果を地域で発揮できる場づくり

○地域活動人材制度の拡充による活躍の場の拡大

- ・市民団体や地域自治組織などが取り組むまちづくり活動に、市民が持つ知識や技術が活かせるよう、地域活動人材制度の普及・活用を促進し、市民の活躍の場を拡大するとともに、「まなびの杜」などを通し、さらなる人材の発掘・登録を進めます。

○コミュニティスクールとの連携による活動機会の拡大

- ・社会全体で子どもたちを育むコミュニティスクールの充実を図るため、各学校や学校運営協議会との連携を深め、地域の人材や学びの成果が、様々な場面で最大限に活かされるよう、活動機会の拡大を図ります。

③地域を元気にする競技スポーツの振興

○競技スポーツを支える指導者や選手の育成

- ・競技スポーツの底辺拡大や競技力の向上に向け、妙高市スポーツ協会や各競技団体と連携し、ジュニア層を中心に指導者の資質向上や、選手の強化・育成を図るとともに、競技スポーツの振興に繋がる大会の開催を支援します。

○地域の特色を活かしたスキー競技の振興

- ・当市の特色ある競技スポーツであり、全国や世界に多くの選手を輩出してきたスキー競技を振興するため、ジュニア選手の育成に向けた大会の開催を支援するほか、ジュニアスキー育成団体の活動支援を通し、ジュニアスキー選手の底辺拡大と、活動環境の充実を図ります。

○市民に希望と感動を与えるトップアスリートの育成

- ・地元出身のスポーツ選手が全国や世界の舞台で活躍することは、市民に希望や感動を与えることはもちろん、スポーツのイメージアップや、市民がスポーツを始めるきっかけにもつながることから、世界にはばたくトップアスリートの育成に向けた取り組みを展開します。

(2) 学びと地域資源を活かした交流の促進

①「妙高の宝」を活用したまちづくり

○「妙高の宝」の情報発信

- ・「妙高戸隠連山国立公園」の豊かな自然や特色ある歴史文化など、地域資源をまちづくりや地域の活性化に活かすため、「まなびの杜」を通じて市民や受講者に伝えることはもちろん、庁内各課や関係団体と連携しながら、様々な機会を捉え、「妙高の宝」として広く市内外に発信します。

○「妙高の宝」を活用した交流の仕組みづくり

- ・地域資源を「妙高の宝」として磨き上げ、それぞれを地域や分野を超えて結び付け、相乗効果を発揮しながら、その価値や魅力を高めるとともに、関係団体や観光事業者と連携し、「妙高の宝」を交流促進に活かす仕組みづくりを進めます。

②歴史文化資源を活用した地域の活性化

○歴史文化資源の保護と継承

- ・地域固有の歴史文化資源の保存と活用を図るため、地域と一体となって、保存活用計画の策定を進めるとともに、計画に基づき、地域資源を活かした活性化に取り組みます。また、歴史文化資源の積極的な調査により、その価値を明らかにしながら、指定・登録

を進めるとともに、環境整備や伝承活動を通じて、地域住民の誇りや愛着心を醸成し、地域の宝として後世に継承します。

○個々の文化財をストーリーで結ぶ一体的な活用

- ・文化財の持つ価値や魅力をより一層磨き上げ、市内外に発信するため、個々の文化財を地域やジャンルを超えたストーリーで結び、一体的な活用を図るとともに、ストーリーの魅力を発信する広域ガイドなどの人材育成に取り組みます。

○観光事業者等と連携した来訪者の受入体制の構築と商品化

- ・(一社) 妙高ツーリズムマネージメントなどの観光事業者等と連携して、歴史文化遺産を巡るツアーのプログラム化を進め、来訪者が妙高の素晴らしさを体感できるような旅行商品の造成に取り組むとともに、地域やガイドボランティア団体と連携しながら、来訪者の満足度を高めるガイドや食の提供など、付加価値の高い受入体制の充実を図ります。

③地域環境を活かしたスポーツツーリズムの推進

○妙高の強みを活かした「合宿の郷 妙高」のブランド力の向上

- ・トレーニングに適した準高地の冷涼な気候をはじめ、質の高い多様なスポーツ・文化施設、疲れた心と体を癒す温泉と食、合宿に集中できる静かな環境など、当市の強みを積極的に活かした誘致活動を展開し、「合宿の郷 妙高」のブランド力を向上します。

○大規模なスポーツ大会や魅力あるスポーツイベントの誘致・開催

- ・これまでも、妙高サマージャンプ大会や越後妙高コシヒカリマラソン大会には、全国からの多くの観覧者や参加者が訪れており、さらに、平成 29 年度のにいがた妙高はね馬国体、令和元年度の全国高等学校スキー大会の開催により、妙高市の魅力を全国に発信することができました。今後も、当市の特性を活かした大規模なスポーツ大会やスポーツイベントを誘致・開催し、「スキーのまち」「スポーツのまち」としてのイメージ定着と交流人口の拡大を図ります。

○民間団体と連携した受入体制の確立

- ・合宿誘致をはじめ、大規模なスポーツ大会やスポーツイベントの誘致・開催には、民間団体が主体的に活動を展開することが重要であり、官民が連携しながら、受入体制の整備を進めます。

4 多様な学習活動を支える基盤づくり

関連する SDGs の目標



(1) 生涯学習関連施設の整備と機能の充実

①「学びと交流」の拠点となる新たな図書館の整備

○市民の主体的な学びを支える図書館サービスの提供

- ・新たな図書館では、市民の学びの基盤となる図書や資料の収集・提供に努めるとともに、電子書籍などの ICT 技術の導入や多様化する現代社会における様々な課題解決のため

のレファレンスサービスを充実するなど、市民の主体的な学びを支える「知の拠点」を目指します。

○子どもの豊かな心を育む読書活動の推進

- ・子どもたちや親子連れの来館者が本に親しみながら快適に過ごすことができる空間の配置や、児童書の充実を図るとともに、学校とのネットワークを強化し、子どもたちの感性と創造力育む読書活動を推進します。

○まちに賑わいをもたらす交流機能の充実

- ・情報基地としての図書館機能の充実に加え、市民の多様な学習活動への支援を通して、人と人とのつながりや交流を促進するとともに、子育て支援をはじめとする多様な機能を持つ複合施設として整備することにより、図書館機能との相乗効果を発揮し、まちの活力や賑わいの創出につなげます。

②子どもの感性を育む体験活動の支援

○青少年学習施設（わくわくランドあらい）のリニューアルの検討

- ・平成28年度に行った大規模改修により、ほぼすべての展示装置等が刷新され、利用者が大幅に増加し、多くの来館者が訪れています。今後も「発見と創造」「体験と交流」を基本とし、子どもたちに豊かな体験活動を提供していくため、社会情勢の変化等を踏まえながら、計画的なリニューアルについて検討していきます。

○豊かな体験活動を支える協働体制の充実

- ・未来を担う子どもたちの生きる力となる豊かな感性と創造力を育むため、わくわくランドあらいにおけるジュニアリーダーや大学等と連携した学生ボランティアの参画を促進するとともに、地域企業が持つ高度な技術やノウハウを学びに活かす場を創出するなど、地域ぐるみで子どもたちの体験活動を支える協働の体制づくりを進めます。

③歴史と芸術文化の魅力を伝える拠点の充実

○地域の歴史文化の特徴や魅力を発信できる体制づくり

- ・歴史文化資源を活かした地域の活性化を推進するため、各地区における歴史文化保存活用計画の策定を通じて、地域との関わりを深め、歴史文化資源の価値や魅力を共有し、地域資源の継承と歴史文化を活用したまちづくりの機運を高めるとともに、地域の推進体制づくりに対するサポートを強化するほか、計画に基づいて実施する地域の取り組みに対する支援制度を検討します。

○歴史文化団体の活動拠点となる施設の整備

- ・地域主体の歴史文化資源を活かした地域活性化を推進するには、その活動拠点の確保が重要であることから、旧関山宝蔵院庭園の修復整備により、その魅力が高まった関山地区の拠点整備を検討するとともに、道の歴史館や斐太歴史の里についても、リニューアルや資料展示の工夫を行い、魅力の向上に取り組みます。また、市内に点在する歴史民俗資料館（斐太歴史民俗資料館、雪国民俗資料館、妙高高原郷土資料館）のあり方についても検討を進めます。

○芸術文化振興拠点の充実

- ・妙高の特色ある文化の創出と芸術文化活動を促進するため、その拠点施設である妙高市文化ホールについて、老朽化に対応した大規模改修に取り組み、時代のニーズに合った機能の充実を図ります。

④安全・安心にスポーツが楽しめる場の提供

○スポーツ施設の適正な維持管理と計画的な改修・修繕

- ・市民をはじめ、合宿者や大会参加者などが、安全に安心してスポーツ活動や健康づくりに取り組めるよう、適正な維持管理を行うとともに、計画的な改修や修繕を行いながら、良好なスポーツ活動の場の提供に努めます。

○新たなニーズや社会の変化に対応した施設の整備と機能の向上

- ・市民のスポーツ活動の促進や交流人口の拡大を図るため、利用者のニーズやスポーツを取り巻く社会環境の変化などに対応しながら必要な施設の整備や機能の向上を図ります。

(2) 社会教育関係機関及び関係団体との連携強化

①学びを提供する市民団体との連携強化

○市民団体等との情報交換、連携の強化

- ・市民に様々な分野の学びを効果的・効率的に提供していくため、市内の文化団体やスポーツ団体をはじめ、市役所各課や市民活動団体との情報交換や互いの取り組みについて共有する場を設けるなど、多様な団体がつながるネットワークを構築します。

○学習講座の運営ノウハウや人材情報などの共有

- ・市をはじめ、学習機会を提供している市民団体等がこれまで培ってきた講座やイベント等の企画・運営ノウハウや人材情報などの共有を図り、連携することにより、各団体等のスキルアップと学びの機会の充実を図ります。

②文化団体の活性化とつながりづくり

○文化団体の担い手の育成と支援

- ・少子高齢化や人口減少が進む中で、地域における文化活動の維持・継続や組織的な活動の活性化を図るため、市内の芸術文化団体との連携を深めながら、団体が抱える課題の解決に向けて、情報交換や情報提供を行うとともに、様々な機会や手段を通し、各団体の取り組みや活動を広く紹介するなど、共に活動する仲間や愛好者の増加を支援し、市民の文化活動の維持・促進を図ります。

○文化団体が相互に連携する場づくり

- ・市内の文化団体が協働して特色ある妙高市の芸術文化の魅力を発信した国民文化祭及び障害者芸術・文化祭のレガシーを次代につなげるため、(公財)妙高文化振興事業団をはじめ、芸術文化団体がそれぞれの強みを活かしつつ、分野を越えた連携を促進し、特色ある芸術文化活動の底上げを図ります。

③各種スポーツ団体との連携強化

○各種スポーツ団体との連携による生涯スポーツの推進

- ・地域の活力につながる、さらなる競技スポーツの振興や生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくりを進めるため、市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブなどとの連携を強化し、活動機会の充実を図り、いつでもスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会を目指します。

○各種スポーツ団体が相互に連携し、共に向上する取り組みの推進

- ・スポーツによるまちづくりという共通の目的に向け、各種スポーツ団体間の連携を促進

するため、情報交換や協働の場を創出するとともに、それぞれが持つノウハウや人材などの資源を相互に活用することにより、共に向上し、組織の活性化が図れるよう働きかけます。

Ⅲ プランを実現するための関連施策

1. 生涯にわたっていつでも学べる環境づくり

施 策	施 策 の 概 要	方向性
(1) 学びの意欲を高める学習情報の提供と学習相談機能の充実		
① 学びに関する市民ニーズの把握	○市民の生涯学習に関する意識調査の実施と学習プログラムへの反映 ○講座や教室の満足度や要望などの把握と検証による質の高い学びの提供	拡充 拡充
② 必要な人に必要な情報が届く効果的な情報発信	○タイムリーで若年層にも届く ICT を活用した効果的な情報発信 ○学びに関する総合的な情報の集約と提供	新規 拡充
③ 学びに関する相談機能の強化	○学びに関する窓口の明確化とコーディネート機能の発揮 ○学びの提供機関・関係団体等とのネットワークの構築	拡充 拡充
(2) 社会環境の変化や持続可能な未来を見据えた学習機会の充実		
① 社会的・現代的な課題を踏まえた学習機会の提供	○時代の変化に対応した学びの提供 ○姉妹都市交流を通し国際化に対応できる青少年の育成 ○在住外国人に対する日本語学習の支援 ○人権意識を高める学習機会の提供	拡充 継続 継続 継続
② 子どもたちの生きる力を育む学びの充実	○学校や地域の学習活動に対する地域活動人材制度の活用 ○子どもや親子に対する学びの場の提供 ○子どもたちの体験活動を支える地域人材の発掘・養成	拡充 拡充 拡充
③ 心の豊かさを感じる芸術・文化活動の促進	○東京藝術大学との連携による優れた芸術文化に触れる機会の創出 ○市民参加型の芸術文化事業の促進 ○気軽に芸術文化に親しむ機会や成果発表の場の提供 ○妙高の特色を活かした芸術文化事業の開催と魅力の発信	拡充 継続 拡充 拡充
④ ライフステージに応じた生涯スポーツの振興	○スポーツ教室や大会の開催などによるスポーツ実施率の向上 ○ラジオ体操やニュースポーツの普及による運動習慣の定着 ○多項目型ジュニアスポーツクラブの運営と支援	拡充 拡充 拡充
(3) 郷土への愛着や誇りにつながる学習機会の提供		
① 地域の宝を知る学びの充実	○国立公園妙高の魅力への理解と保護意識を醸成する学びの提供 ○地域の歴史文化資源の磨き上げと後世への継承	拡充 拡充
② 地域の魅力を再発見する学びの提供	○妙高の魅力を再発見できる学びの提供 ○郷土が誇る地場産業や産業遺産の魅力や価値を学ぶ機会の提供	拡充 拡充

2. 学びでつながる地域づくり・人づくり

施策	施策の概要	方向性
(1) 共に学び合い、高め、支え合う人づくり		
①共に学び合い、 学びでつながる人 づくり	○学習活動を通じた地域連帯感の醸成 ○互いの学びを支え合うつながりづくり	拡充 拡充
②学びの成果を積 極的に活かす人づ くり	○地域の担い手となる多様な人材の掘り起こしと育成 ○地域の魅力を発信できるボランティアの育成	拡充 拡充
(2) 学びを通じた地域の絆づくり		
①「妙高市民の心」 を基盤とした地域の 絆づくり	○ワークライフバランスの推進による家族の絆づくり ○日常的な声かけやあいさつによるコミュニケーションの活性化 ○協働意識の醸成と相互扶助活動の活性化	拡充 拡充 拡充
②協働でつくる持続 可能な地域づくり	○学びによる地域間の交流や世代間の交流の促進 ○家庭・学校・地域社会の連携による地域力の向上	拡充 拡充

3. 学習成果を活かした活力ある地域づくり

施策	施策の概要	方向性
(1) 学びの循環を促進する仕組みづくり		
①学習成果を実践 活動につなぐ仕組 みづくり	○生涯学習指導員の設置による人と活動をつなぐコーディネート機能 の発揮 ○学びの場への学習修了者の参画の促進	拡充 拡充
②学習の成果を地 域で発揮できる場 づくり	○地域活動人材制度の普及・活用の促進 ○コミュニティスクールとの連携による活動機会の拡大	拡充 拡充
③地域を元気にす る競技スポーツの 振興	○市スポーツ協会などと連携した強化練習会などの実施 ○ジュニアスキー育成団体や大会開催への支援 ○トップアスリートの育成を目指す取り組みへの支援	拡充 拡充 継続
(2) 学びと地域資源を活かした交流の促進		
①「妙高の宝」を活 用したまちづくり	○「妙高の宝」である自然や歴史文化の魅力の発信 ○地域資源を交流促進に活かす仕組みづくり	新規 新規
②歴史文化資源を 活用した地域の活 性化	○地域との協働による歴史文化保存活用計画の策定 ○歴史文化資源の調査と文化財の指定・登録の推進 ○地域やジャンルを超えた一体的な文化財の活用とガイドの育成 ○歴史文化資源を活かした旅行商品の造成と受入体制の構築	拡充 拡充 拡充 新規

③地域環境を活かしたスポーツツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○妙高の強みを活かした「合宿の郷 妙高」のブランド力の向上 ○大規模なスポーツ大会や魅力あるスポーツイベントの誘致・開催 ○民間団体と連携した受入体制の確立 	拡充 拡充 新規
------------------------	--	----------------

4. 多様な学習活動を支える基盤づくり

施策	施策の概要	方向性
(1)生涯学習関連施設の整備と機能の充実		
①「学びと交流」の拠点となる新たな図書館の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○時代の変化や ICT 社会に対応した質の高い図書館サービスの提供 ○子どもたちの読書活動を推進する環境づくり ○多様な機能を持ちまちに賑わいをもたらす複合施設の整備 	新規 拡充 新規
②子どもの感性を育む体験活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年学習施設(わくわくランドあらい)の次期リニューアルの検討 ○地域ぐるみで豊かな体験活動を支える協働体制の整備 	新規 拡充
③歴史と芸術文化の魅力を伝える拠点の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史文化資源の活用に向けた気運の醸成と支援策の検討 ○関山地区の魅力をさらに高める歴史文化拠点施設整備の検討 ○関川関所道の歴史館のリニューアルの実施 ○市内に点在する歴史民俗資料館のあり方の検討 ○妙高市文化ホールの大規模改修による機能の向上 	新規 新規 新規 新規 新規
④安全・安心にスポーツが楽しめる場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の適正な維持管理と計画的な改修・修繕 ○新たなニーズや社会の変化に対応した施設の整備と機能の向上 	継続 新規
(2)社会教育関係機関及び関係団体との連携強化		
①学びを提供する市民団体等との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な学びの提供者である団体等とのネットワークの構築 ○市民団体等との講座運営のノウハウや人材情報などの共有 	拡充 拡充
②文化団体の活性化とつながりづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○課題解決に向けた情報交換や情報提供による文化団体への支援 ○文化団体の活動や魅力を伝える情報発信 ○国民文化祭のレガシーを活かした連携事業の促進 	拡充 拡充 新規
③各種スポーツ団体との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ団体との連携による多様なスポーツ活動の機会の提供 ○スポーツ団体間の連携と、共に向上する取り組みの推進 	拡充 拡充